

標 題 : Adherence to Mediterranean Diet, Malnutrition, Length of Stay and Mortality in Elderly Patients Hospitalized in Internal Medicine Wards.
内科病棟に入院している高齢患者における
地中海食事の順守、栄養不良、入院期間および死亡率

著 者 : A. L. Buglio, et al. (イタリア フォッジャ大学 内科・外科学部)

掲 載 誌 : Nutrients. 2019 Apr 5; 11(4). pii: E790

要 旨 :

この研究は、内科病棟に入院している高齢患者で、地中海食事の順守およびそれと入院期間と院内死亡率、血中インターロイキン、体組成、およびフレイルとの関連を調査することを目的とした。

従って、急性期入院した地域在住の高齢患者 194 人による横断的研究を実施した。

地中海食事の順守を「イタリア地中海指数(IMI)」で評価した。

入院期間は、低い IMI スコアの患者で高い IMI スコアの被験者と比較して長かったが、院内死亡率は異なった。

全身性炎症のマーカー、血中インターロイキン-6 および腫瘍壊死因子 α (TNF α)は、高い IMI スコアの患者に対して低い IMI スコアの患者で高かった。

さらに、低い IMI スコアの患者は、高い IMI スコアを示す人と比較して、増加した体脂肪量および減少した除脂肪体重を有し、フレイルの高い有病率を伴った。

多変量ロジスティック回帰モデルで、 < 3 の IMI スコアは長い入院期間の独立した予測因子となった。

結論として、内科病棟に入院している高齢患者で、地中海食事の低い順守は長い入院期間と関連し、そして血中の炎症促進性マーカーおよび体組成の好ましくない変化と関連する。

キーワード : 地中海食事、体組成、血中インターロイキン、高齢者
